

私共、エイジコンサーン・ジャパン（ACJ）は日本の中高年の方々の生活の質を高め、より一層楽しく生きがいと尊厳と希望に満ちた人生の後半生活を送ることのできる社会構築のため自立型・事業型ワンストップサービスの提供を目指して活動する NPO です。

チャールズ皇太子をパトロンとする英国最大の高齢者福祉、社会問題に取り組み、活動しているチャリティ団体 ACE（2009 年英国 2 番手の Help the Aged と合併し 2010 年 4 月 1 日より総称は Age UK になりました）と 2006 年 9 月にパートナーシップ契約を締結いたしました。

ACE は認知症の方への支援として、英国ブラッドフォード大学の故トム・キットウッド教授が提唱した「パーソン・センタード・ケア」をコンセプトにしており、福祉に関わる人間にとって根幹を成すと考えます。ACJ は ACE の 70 年以上にわたる経験、知恵、英国の進んだ高齢者福祉のシステムと運用方法を学び、日本の社会的特徴に順化した独自のシステム構築に取り組んでおります。

理事長 塚谷あき子

社会的養護施設 第三者評価受審申込のご案内

平成 24 年度より

- ① 社会的養護関係施設は、第三者評価指針通知およびこの通知に基づいて行われる第三者評価を 3 年に 1 回以上受審し、その評価結果の公表が義務付けられました。
- ② 又、その間の年においては、第三者評価基準の評価項目に沿って、自己評価を行わなければならなくなりました。

社会的養護関係施設（児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設および母子生活支援施設）については、子供が施設を選択出来る仕組みでない措置制度であり、又、施設長による親権代行等の規定もある他、家庭などで虐待を受けた子供の入所が増加し、施設運営の質の向上を図ることが急務であることから、第三者評価の実施を義務付けられる事になりました。

受審の効果と意義

- ・子供、入居者の安全、権利擁護、そして何より子供の最善の利益を追求することができます。
- ・職員の質の向上、中・長期的経営計画の整備による健全な福祉経営の新たなヒントを得るきっかけとなります。
- ・第三者評価のプロセス（自己評価・訪問調査等）を通じ、職員の気づき、サービスの改善点課題の共有化が深まり、チームワークの醸成に繋がります。
- ・施設が評価活動を通じてサービスの改善に取り組んでいる事を入居者や家族、地域住民等へ告知する事が重要です。



評価調査の流れ

調査の前に

お申し込み
まずはお気軽に電話、FAX、メールにて、第三者評価受審をお申し込み下さい。

事前説明

担当者が評価手順や料金についてご説明いたします。評価調査についてわからないことなど、お気軽にご相談ください。

ご契約

契約書を郵送いたします。評価調査の内容に同意してご入金いただき、契約は終了です。いよいよ評価調査が始まります。

調査中

自己調査
はじめに貴施設の状況を自己評価調査の書類に沿ってチェックします。
(訪問調査の一ヶ月前)

アンケート

入居者とその家族にアンケートします。プライバシー保護のため、この情報は施設の方へ公表いたしません。

訪問調査

事前に調整した日に調査員が訪問いたします。いつもと同じ雰囲気でお待ち下さい。
(訪問調査は2日間)

調査の後は

結果報告
いよいよ評価結果の報告です。ご確認頂き修正箇所を双方で確認します。評価結果公表についての施設の同意を得ます。

一般公示

一 全国社会福祉協議会がACJの報告を受け、評価結果を公表します。
WAMNETに掲載

この第三者評価は、調査だけが目的ではありません。課題を共に考え、共に改善していく事が重要です。了ACJは良くパートナーとなる事をお約束します。



第三者評価料金表

保育所	高齢・障がい・児童館	社会的養護関係施設*
25万（定員60名）	22万（定員60名）	26万（定員60名）
28万（定員100名）	26万（定員90名）	30万（定員100名）
30万（定員140名）	30万（定員100名）	

第三者評価料金は規模により応相談

* 尚、社会的養護関係施設においては、3年に1回に限り、1回30万円を上限に、措置費の第三者評価受審加算を算定することができます。

法人概要と主な事業内容

①高齢者福祉施設評価事業

(優れた施設を普及させたいという強い思いから良心的な費用で評価を行なっています。)

②U3A(The University of the Third Age= 第三世代大学)の活動及びネットワーク化
国境を超えた市民主導の自主自立の学びの場を提供

③介護トレーニング事業

ACE で使われているバイリンガルのテキストを使い、認知症虐待対策とパーソンセンタードケアを中心に研修を行なっています。

評価調査を検討されている施設関係者の方へ

第三者評価は任意の制度、情報の公表や行政の監査でも十分に施設の情報は提供できている。そんな施設の方のご意見、大変わかります。しかし任意の制度だからこそ、進んで評価を受けることが施設の評判を高めることをご存知ですか。

市民が必要とする情報、それは公開しなくてはならない決まりきった情報ではなく、施設自らが進んで情報開示に参加していることへの信頼と安心感です。いままで未知の場所であった福祉施設について、入居する人、預ける人も不安で一杯です。うわさや評判を頼りに、施設探しに困っている方がどれほど多いでしょうか。第三者評価はそんな市民の希望に応えるために、市民や利用者の立場で感じた意見と、専門家のコメントを掲載し、利用者が安心する情報を公表するための評価です。施設の雰囲気が伝わる第三者評価だからこそ、市民からの安心に応えることができます。

高齢者福祉の環境が変わりつつある今、施設も、もう一步市民の近いところへ誰もが安心して生涯を過ごせる社会を目指して、施設でもできることからはじめてみませんか。

第三者評価をするために、様々な努力をしています

第三者の立場でサービスの品質と価値を調査し施設を知るために必要な情報を利用者や公衆に提供し、ヘルスケアと公共の福祉をよりよくしていくために。

調査員のスキルアップ

- ・ 評価員勉強会（国内外の評価や施設の工夫、認知症や虐待への取り組みなど）
- ・ 他団体主催の勉強会へ参加
- ・ 各種セミナーやフォーラムへの参加
- ・ 介護・福祉制度についての新しい情報を逐次提供

ぜひ、評価調査はACJにて

気になる評価料金や調査内容などについて

- ・ 低料金：調査料金は施設の規模・業種・サービス内容などによってご相談に応じます
- ・ 透明性：評価根拠をきちんと説明し、責任のある情報を公開
- ・ 有意義：市民が施設を選ぶ際に注目する施設の特徴を最大限アピール
- ・ 公開性：見えない取り組みや努力など、良いところをどんどん評価します

お申し込み・ご連絡はこちらまで

エイジコンサーン・ジャパン 福祉サービス第三者評価グループ

担当：塚谷・中塚

TEL : 06-6615-1250 FAX : 06-6615-1251

E-mail: fc@ageconcern-japan.org URL: <http://www.ageconcern-japan.org/>

第三者評価の流れのチャート

